

今を積み重ねる



パンタカという仏弟子は、お釈迦さまの弟子の中で一番物覚えが悪い弟子でした。意地悪な人は彼を「バカのパンタカ」と呼んでからかいました。

ある日、パンタカはお釈迦さまに「教える聞いても覚えられません。仏弟子をやめるべきでしょうか？」と相談しました。それを聞いたお釈迦さまは少しほほ笑むと、一本のほうきを手渡しと言いました。

「塵をはらい続けなさい」

パンタカはその日から毎日毎日、ほうきで掃除をしました。それを見た意地悪な人は「仏弟子なのに掃除ばかりしている」と、またからかいました。しかし、パンタカは、ただひたすらに毎日毎日掃除をし続けたのでした。

いつしか、パンタカをバカにする人は誰も居なくなり、みんなが彼を「ほうきのパンタカ」と呼ぶようになりました。

ある日、パンタカはふと気づきました。「こんなに毎日掃除をしても、汚れはなくなり、次から次にわいてくる。これは、煩惱がわき続ける私の心と同じだ。」パンタカはお釈迦さまにその気付きを話しました。

するとお釈迦さまは、

「よく気付いたね。何かを覚えて賢い人になることが大切なのではないんだよ。今、何をしているのが大切なのだ。パンタカよ、これからは煩惱を払い続けなさい」それを聞いたパンタカは修行を続け、さとりを開きました。

立派な人、賢い人に成るのではなく「今、するべきことをする」ということが大切なんです。『今』を積み重ねていくことが人生なのでしょう。そして、その全この「今」に寄り添い続けてくださるのが、阿弥陀さまという仏さまです。

あ！ そういえば……

副住職の保田正信が法話を書いている『フリーペーパーののさま』が発行し続けて今号で十周年になりました。一冊一冊を続けていたら、いつのまにか十年です。

見かけたら読んでみてくださいね。

南無阿弥陀仏



<http://nonosama.info/>



一念寺連絡先登録



Instagram